

事業番号	08 04 37	事業改善シート(25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	水産試験場運営費			担当課	部局	農政部	
					課・室	園芸畜産課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 ◆自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			実施期間	S56 ~	

1 事業の概要

目指す姿	水産試験場の保守及び維持管理、予算の適正な執行により、県内水産業の発展に寄与する。					
現状	水産試験場の各施設及び各種機器共に老朽化が進んでいるため、保守、維持管理に苦慮している。					
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()		【左記の説明、根拠法令等】 県の水産業振興に必要な場の運営に係る費用			
成果目標・事業内容	① 成果目標(H25)					
	○水産試験場の保守及び維持管理、予算の適正な執行により、県内水産業の発展に寄与する。 運営費は試験研究費、技術指導費、種苗開発費の下支えするものであることから、成果目標は他の目標と同じとする(新たな知見の獲得 7件、技術指導回数 1,000件、卵・稚魚の出荷 113万粒、288万尾) ○本県水産業の持続的競争力とブランド力の強化につながる種苗生産能力の向上(H30年度:信州サーモン30万尾→36万尾)及び研究開発機能(耐病系信州サーモンの開発促進)の強化(6月補正) ○本県観光資源である川魚の無病化と定着化に向けた河川放流大型種苗の供給促進(H26年度:アユ1gサイズ130万尾→1gサイズ110万尾と10gサイズの供給10万尾)(9月補正)					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H25実施内容	H25 (補正前) (9月補正) (補正後)	
	運営費	直接	水産試験場の保守及び維持管理、予算の執行	37,969	37,969	
	夢に挑戦する農業を支える新技術開発の促進	直接	種苗生産施設及びバイオテクノロジー品種開発施設の施設・設備等の整備(6月補正)	75,952	75,952	
	夢に挑戦する農業を支える新技術開発の促進	直接	アユ種苗センターの施設・設備の整備(9月補正)		2,666	
	合計			113,921	2,666	
事業コスト	区分(単位:千円)		22年度	23年度	24年度	25補正後
	予算額	前年度繰越		6,300		
		当初予算	35,411	39,253	36,466	37,969
		補正予算	9,449		2,992	78,618
		合計(A)	44,860	45,553	39,458	116,587
	Aの財源	国庫支出金				78,618
		県債				
		その他	1,589	895	3,534	3,299
		一般財源	43,271	44,658	35,924	34,670
	決算額(B)	88,865	81,001	39,458		
概算人件費	職員数(人)	4.70	4.70	4.70	4.70	
	概算人件費(C)	39,090	38,813	38,813	38,813	
	概算事業費(B(A)+C)	127,955	119,814	78,271	155,400	

(注)22.23年度の決算額(B)は水産試験場費総額

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
新たな知見の獲得	7件	7件			
技術指導回数	1,000件	1,000件			
卵の出荷	110万粒	113万粒			
稚魚の出荷	288万尾	288万尾			

要求からの主な変更点

要求どおり